

概要 町家や社寺などの伝統的な木造建築物や、漆器や木工品などの木の文化を守り育てるため、木造建築物の建設の誘導、技能の継承支援などを進める。

総合評価

B

客観指標評価については、住宅の着工件数が減少する中であって、木造住宅の占める割合は増加しており、木造住宅の建設が適切に誘導されていることが伺え、Bと評価する。市民満足度評価においてもBであることから総合評価をBとする。

この施策の客観指標評価

客観指標総合評価: **B**

指標名とその前年値, 現在値, 目標値, 達成度

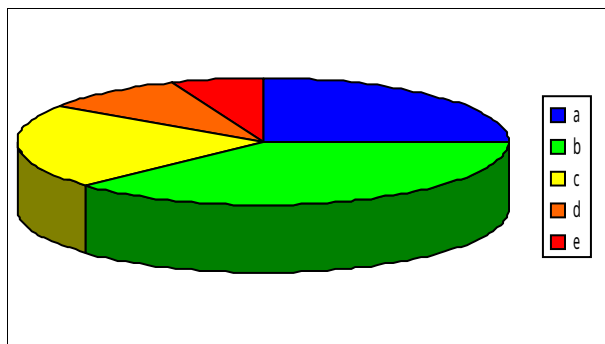
評価

構造別着工件数に占める木造建築物の割合(%)*

37.18	40.69			B
-------	-------	--	--	---

この施策に関する市民満足度評価

まちなかには文化を感じさせる木造建築が多く残っていて、なかなか良いと思う。



答a: そう思う	88	25.1%
答b: どちらかというと思う	132	37.7%
答c: どちらとも言えない	76	21.7%
答d: どちらかというと思うわない	33	9.4%
答e: そう思わない	21	6.0%
有効回答数	350	
満足度評価		B

<参考> この施策実現のための主な事業
事業名